

産業建設常任委員会会議記録
(条例審査)

1. 日 時	令和7年9月16日 12時07分開会 令和7年9月16日 12時35分閉会
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	荒木礼子委員長、隅田雅春副委員長、金崎美和委員、渡辺拓道委員、大内正博委員、上田英樹委員
4. 欠席議員	なし
5. 参考人	なし
6. 傍聴人	なし
7. 会議に付した事件	議案第52号 丹波篠山市こんだ薬師温泉ぬくもりの郷の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

8. 議事の経過

開会 12:07

【分科会】

荒木座長 開会宣告
荒木座長 あいさつ

■ 日程第1 議案第52号 丹波篠山市こんだ薬師温泉ぬくもりの郷の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

観光交流部

荒木委員長 本案については9月4日に審査を行いました。その際、施設施設の名称に温泉を追加することについて議論となりました。名称については、地元の方などの意向なども踏まえ、改めて審査を行うことにいたしました。本日は、初めにその点について当局から説明いただき審査を行いたいと思います。

観光交流部 道の駅の名称に「温泉」を入れるというご意見につきまして、地元の皆様に改めてご意向をお伺いしましたのでご報告させていただきます。まず名称を現在のままの「道の駅こんだ薬師温泉ぬくもりの郷」にすることにつきましては、前回も少し説明をいた

<p>荒木委員長 渡辺委員</p>	<p>しましたが、少し長いとのご意見がございました。次に1番の特徴であります「温泉」を名称に入れることにつきましては皆様、賛成というご意見を頂戴いたしました。</p> <p>委員の皆さんから質疑はありませんか。</p> <p>提案者側としては原案で提案をさせていただいているので、そういうことなんですけども、改めて地域の声を確認をさせていただいた上で「温泉」を入れるとすれば第2案として、どういった名称が好ましいというふうに思われてるのかをお示しいただけたらうれしいです。</p>
<p>観光交流部</p>	<p>「温泉」を入れるというご意見に関しまして、地元を確認をしまいいりました。その中ではどの部分に「温泉」を入れるのか。また名称をどうするのかについてですけれども、やはり「ぬくもりの郷」というのは、そのまま置いておきたいという中で「道の駅こんだ温泉ぬくもりの郷」でいかがかと ご意見を伺いました。指定管理者及びまちづくり協議会等々、地元の皆様方に関しましても、それでいいのではないかと いう意向がございました。</p>
<p>渡辺委員 観光交流部</p>	<p>漢字や仮名の表記についてはいかがでしょうか。</p> <p>「こんだ」が平仮名でございます。「温泉」が漢字、「ぬくもりの」が平仮名でございまして、「郷」が漢字ということでございます。</p>
<p>荒木委員長</p>	<p>確認ですけれども、今田地域の方や関係者、また当局のほうでは、どのような形で、どのような方と、どこまでの範囲で話し合われたのか、もう少し詳しく教えていただけますか。</p>
<p>観光交流部</p>	<p>まず、地元といたしまして指定管理者であります夢こんだの社長に連絡をとらせていただきまして、そのあと取締役の皆様方にご意見を伺ってくださいというお願いをさせていただきました。そのあと地元の皆様方に関しましては、どのようにしましょうかというような相談をさせていただいて、まちづくり協議会の皆様方が、やはり今田地域の振興というような形でしていただいておりますので、まちづくり協議会の役員の方にお聞きするのがいいのではないかと いうようなお話があつて、それも社長のほうからまちづくり協議会の大上代表に連絡をとっていただきまして、賛同をいただいたところです。私どもとしましては、温泉が開湯した当時の担当者 に どういった思い入れがあつたのか。例えばぬくもりの郷についてはどうか。いろんな方面からお話を聞かせてい</p>

ただきました。そのOB職員が申しますには、当時は農産物の振興というようなことに重きを置いて、温泉というのは農産物を販売やPRをするための一つのツールとして使いたいというような思いがあったというようなことをお聞きいたしました。道の駅の名称に関しましては、ぬくもりの郷というのがここまで認知されて、温泉が認知されたというのは非常にありがたいことなので、温泉が名称に入るというのは非常にうれしいことだということでした。こういった方面からお聞きをさせていただいたという形でございます。

■ 日程第2 議員間協議

荒木委員長

議案第52号について、議員間で、議論、確認等をすればよいことがあればご発言願います。

渡辺委員

前回の委員会の中で、今後の道の駅のにぎわいのことも考えると「温泉」を入れたほうがいだろうというような話がありました。その中で課題となっていた地元の意向をやはり大事にしていかなければならないという部分についても、特に地元地域のほうも「温泉」を入れることについてはご異議がないというようなことでした。また、名称についても、当局側のほうからご意見もいただきましたので、委員会で「道の駅こんだ温泉ぬくもりの郷」といったような形で皆さんの賛同を得て修正案を上げるというような方向でいっていただけたらどうかと思います。

荒木委員長

渡辺委員のご意見に皆様、ご賛同いただけますでしょうか。
(異議なし)

上田委員

私もそのまま賛同させていただきたいと思います。と申しますのは、この提案については、やはり薬師温泉という文言に思い入れが強いかないところがあって、地域の方の意見を聞いてはどうかというような前回の委員会だと思います。今回の名称については、「道の駅こんだ温泉ぬくもりの郷」がいいと思いますし、特に条例等で判断する場合には、施設の名称の中では、薬師温泉館も道の駅の一部であります。今回、トイレとか駐車場がプラスになってきますが、薬師温泉館というのは条例の中では温泉施設の名称もそのまま残るといことと、地元の多い方々も、もうこれでいいんじゃないかなと言われておりますの

で、今言われました内容につきまして賛同をさせていただきたいというふうに思っております。

荒木委員長

ありがとうございます。そうしましたら、委員会といたしまして、議案 52 号に対しましては、修正案を提出したいと思いません。その方向で準備をさせていただくことでよろしいでしょうか。それでは、暫時休憩をいたします。

(休憩)

荒木委員長

ただいま配っていただきまして、案をご覧いただきましてご意見等はございますでしょうか。

— 意見なし —

荒木委員長

それでは委員会といたしまして、「道の駅こんだぬくもりの郷」を「道の駅こんだ温泉ぬくもりの郷」に改めるという案で行かせていただきます。ここで暫時休憩をとりたいと思います。

(休憩)

日程第 3 表決

荒木委員長

ただいまから日程第 3 表決に入ります。ここで議案第 52 号丹波篠山市こんだ薬師温泉ぬくもりの郷の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例に対し、大内委員ほか 4 名から修正の動議が提出されました。修正案を配付いたします。

(修正案配布)

荒木委員長

それでは、修正案と本案すなわち議案第 52 号をあわせて議題といたします。それでは提案者より修正案について説明を頂きます。

大内委員

議案第 52 号の修正の動議を会議規則第 69 条の規定により、別紙の修正案を添えて提出いたします。議案第 52 号丹波篠山市こんだ薬師温泉ぬくもりの郷の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を次のように修正します。題名中、「道の駅こんだぬくもりの郷」を、「道の駅こんだ温泉ぬくもりの郷」に改めるということで、温泉を入れてはどうかということになっております。道の駅は、温泉と併設するということが、今後さらに市外に対しても温泉という強いものを発信していったらさらに発展していくのではないかと、

提案させていただきます。

荒木委員長

それでは、修正案と本案すなわち、議案第 52 号について一括して討論を行います。討論はありませんか。

(委員長と呼ぶものなし)

荒木委員長

討論なしと認めます。これで討論を終わります。これから、議案第 52 号について採決いたします。まず、本案に対する大内委員ほか 4 名より提出されました修正案について採決します。修正案に賛成の方は、起立願います。

— 全員賛成 —

荒木委員長

起立全員です。したがって、修正案は、可決されました。次に、ただいま修正議決した部分を除く原案について採決します。修正議決した部分を除く原案に賛成の方は起立願います。

— 全員賛成 —

荒木委員長

起立全員です。したがって、修正議決した部分を除く部分は、原案のとおり可決されました。以上で当委員会に付託されました議案について採決は終了いたしました。

— 執行部退席 —

荒木委員長

それでは続きまして、委員会の審査報告については委員長にご一任願いたいと思いますがご異議ございませんか。

— 異議なし —

荒木委員長

異議なしと認めます。また、本日の会議録については、事務局に調整させ委員長、副委員長において内容確認を行いたいと思います。これにご一任願いたいと思いますがご異議ございませんか。

— 異議なし —

荒木委員長 それでは、審査が終了しましたので、閉会に当たりまして隅田副委員長よりご挨拶をお願いします。

隅田副委員長 あいさつ

閉会 1 2 : 3 5